

損保ジャパン記念財団が、初めて「海外助成」を実施

ASEAN加盟国で社会福祉活動を行う2団体に、合計117万円を助成

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟）が出捐している財団法人損保ジャパン記念財団（理事長 佐藤正敏）は、海外における社会福祉の向上を目的に、初めて「海外助成」を実施します。本年度は、ASEAN加盟国で社会福祉を行う非営利団体の活動を対象に募集を行い、2団体、合計117万円の助成を決定しました。2011年3月末までに現地で贈呈式を開催する予定です。

1. 「海外助成」について

損保ジャパン記念財団は、国内で実施している助成制度を発展させ、海外（特に開発途上にある国・地域）の社会福祉の向上を目的に、本年度初めて「海外助成」を実施します。

当助成は、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦にもとづき、募集対象国において、社会福祉分野の非営利団体が行なう活動を対象としています。

なお、本年度の募集対象国はASEAN加盟国（ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）となっています。

2. 助成先について

選考委員会で厳正な審査を行った結果、インドネシアとフィリピンに本部を置く2つの非営利団体に合計117万円の助成を決定しました。詳細は以下のとおりです。

損保ジャパン現地法人により、各助成先で3月末までに贈呈式を開催する予定です。

【ジャカルタ】

助成先 : YPAC-Jakarta (Yayasan Penanggulangan Anak Cacat)

助成目的 : 通所している障害児・者のリハビリテーションプログラム「スピーチセラピー（言語聴覚療法）とオキュペーショナルセラピー（作業療法）」に使用する機器一式の購入費。機器の導入により、この施設でより効果的な訓練の実施が可能となります。

助成金額 : 50万円

【マニラ】

助成先 : St. Francis School - VSA arts Philippines, Inc

助成目的 : 新生児の聴覚検査に使用する耳音響放射検査装置の購入費。早期の専門教育を受けることにより、聴覚障害のある子供の生涯にわたる生活向上を目指すプログラムの効果をあげることが期待できます。

助成金額 : 67万円

[ご参考]

損保ジャパン記念財団は、1977年10月1日、安田火災海上保険株式会社（現：株式会社損害保険ジャパン）の出捐により、同社の社会貢献活動の一翼を担うものとして設立されました。損保ジャパン記念財団の主な活動としては、本件のほか、障害者福祉団体に対する設立資金助成、自動車購入費助成、わが国における優れた社会福祉学術文献を表彰する「損保ジャパン記念財団賞」、および社会福祉・社会保険・損害保険に関する研究助成や研究会、講演会の開催などがあります。

以上